

## 第4期宮前区区民会議 第5回会議 次第

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～



日時：平成25年5月15日(水)18:15～20:00

場所：宮前区役所 4階大会議室

- 1 開会 18:15～18:20
- 2 議事

①中間報告書について 18:20～18:30

別添

②審議経過報告について

・環境を活かした人づくり部会 18:30～18:40

3-9 ページ

・心を育てる地域と世代部会 18:40～18:50

10-14 ページ

③部会審議内容に関して質疑応答・意見交換 18:50～19:20

④区民会議フォーラムの振り返り 19:20～19:50

15-18 ページ

・開催の報告

・今年度末のフォーラムに向けて

【議事終了】

3 その他諸連絡 19:50～20:00

・各委員活動紹介

・今後の日程

第7回心を育てる地域と世代部会

5月28日(金) 18:15～20:15 区役所第1会議室

第7回環境人部会

6月4日(火) 18:15～20:15 区役所第1会議室

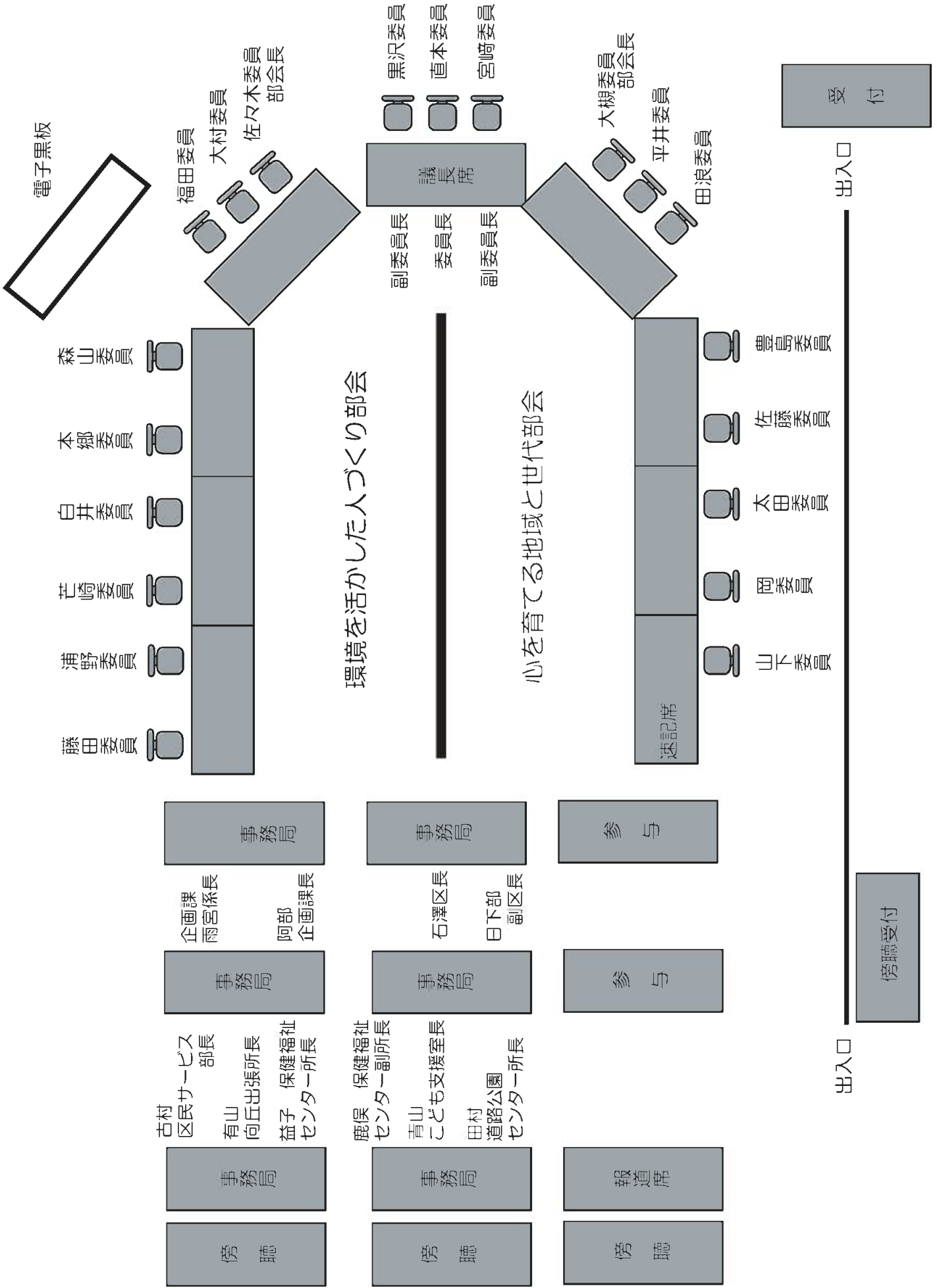
第6回区民会議 8月5日(月) 18:15～20:15 区役所大会議室

第7回区民会議 11月20日(水) 18:15～20:15 区役所大会議室

第8回区民会議 2月12日(水) 18:15～20:15 区役所大会議室

# 第4期宮前区区民会議 第5回全体会

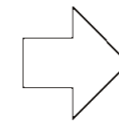
窓 東急ストア側



# 第4期宮前区区民会議 環境を活かした人づくり部会 議論ペーパー

- 目指す方向性**
- ①スポーツの推進  
(指導者の育成・スポーツセンターの活用・健康の増進)
  - ②花・緑・川など身近な環境  
(公園花壇づくり・緑化団体のイベント・区内表彰、ポイ捨て禁止)
  - ③区民主体のお祭り

など身近な環境を通じて



地域で活躍する「人づくり」をする

■キーワード■  
**人づくり**  
参加者を増やす  
相乗効果

## 現状と課題

### 現状

- スポーツの推進**
  - ・「坂道ウォーキング教室」の開催
  - ・坂道ウォーキングコースの紹介冊子の作成
  - ・健康寿命を延ばすことが社会的に求められている
- 花・緑・川など身近な環境活動の推進**
  - ・国道沿いの斜面地に雑草が茂り、火災等の危険がある場所がある。
  - ・緑を活かした活動が活発だが、道路にはポイ捨てなどがある。
  - ・花を盗られたり、公園の花壇が荒らされることがある。
  - ・愛護会はあるものの、年に数回しか清掃活動を実施しておらず、花壇もなくゴミが散乱している公園がある。
  - ・子どもたちが自由にのびのびと遊べる場所として、常設型の冒険広場がない。
  - ・緑化活動で10年以上活動を続けているグループが多数あり「地域まちおこし」の中心になりつつある。
  - ・平瀬川が植樹等の緑化がされているのに比べ、矢上川は駐輪場として利用されているのみ。
  - ・平瀬川の源流地では開発が進み、湧水量が目に見えて少なくなっている。

### 課題

- スポーツの推進**
  - ・健康寿命を延ばすために、健康な身体・体力づくりが必要
  - ・坂道を活用した活動を広げていくことが必要
- 花・緑・川など身近な環境活動の推進**
  - ・緑化活動に対する理解が不足している
  - ・区内の自然の減少（中学生も指摘している）
  - ・若い世代が宮前区に定住したいと思える、積極的な緑化推進によるまちづくりが必要
  - ・整備が行き届き、自然が残されている地域資源もあるが、区民に知られていない、交通アクセスが良くない
  - ・道路美化は公園等と違い、範囲を明確にしにくいので市民活動が難しい
  - ・公園を地域住民のものとしてコミュニティの場として有効活用する必要
  - ・公園管理運営協議会、愛護会と町内会・自治会等との協力体制づくりが必要
  - ・公園に対する関心の意識付けが必要
  - ・公園の特色や利用状況の調査が必要
  - ・花壇の給水設備等の整備が必要
  - ・建物の新築の場合には雨水浸透柵の設置の働きかけをし、既存の公共施設には雨水浸透柵等を設置するなどの湧水保全対策が必要
- 区民主体のお祭りの開催**
  - ・区民が気軽に参加でき、交通の不便を感じさせないイベントがあっても良い。

## 課題解決提案の方向性・イメージ

### スポーツの推進

- ・健康・体力づくり
- ・指導者の育成
- ・坂道の活用

### 花・緑・川など身近な環境活動の推進

- ・緑化推進、自然環境の保全・活用
- ・道路の美化
- ・未利用地の活用
- ・公園の管理・運営体制づくり
- ・公園を活用したコミュニティの活性化
- ・安全安心のまちづくり
- ・河川や湧水の整備・保全
- ・河川の水質保全
- ・ボランティア団体の育成
- ・ボランティア団体の活動支援
- ・情報発信・広報力強化
- ・ふるさと意識の醸成や定住促進
- ・歴史・謂れの伝承
- ・子どもの外遊びの支援
- ・地域資源へのアクセスの確保
- ・施設整備

### 区民主体のお祭りの開催

- ・区民が気軽に参加できるイベントの開催

## 地域で活躍する「人づくり」

## 課題解決提案の内容・手法(案)

部会員から出た案。詳細等は未検討・提案にするかどうか未決定  
テーマの絞り込みも含め、検討を今後さらに進める...

### ●テーマ:緑化・自然環境保全

- 案: 緑化活動の推進・PR
- 案: 花いっぱいフェスティバルの開催(公園緑地協会登録団体等)
- 案: 「みやまえマラソン」の開催(緑化・市民活動スポットを活用)

### ●テーマ:公園の維持・管理・活用

- 案: 公園管理や公園利用の講習会・説明会・ワークショップ等の開催
- 案: 活動団体への支援や連携体制づくり
- 案: 冒険遊び場の更なる推進(常設化を目指す)
- 案: 活動団体の活動拠点の整備

### ●テーマ:水辺の保全・活用

- 案: 矢上川魅力アップ(河岸整備や歴史等のPR活動)
- 案: 平瀬川源流、湧水の保全

### ●テーマ:健康づくり

- 案: 健康づくりの更なる推進。(公園体操の開催日拡大)
- 案: 坂道ウォーキングの更なる推進。(1DAY イベントの開催など)

次回部会では、既存の活動や取組の内容を踏まえながら、取り上げる提案やその詳細等の検討を進める予定



## 第5回環境人部会 摘録



日時：平成25年3月1日（金）18：15～20：00

場所：宮前区役所4階第2会議室

【進行：佐々木部会長】

### 1 出席確認

出席：佐々木、浦野、大村、黒沢、白井、芒崎、福田、藤田、本郷、森山

欠席：直本

### 2 前回会議の内容確認

### 3 区民会議交流会の感想等

#### ・市長講話の概要

区民会議の目的は地域の課題を解決すること。  
要望などは議員の仕事であり、区民会議は地域で解決するという点に主眼  
課題は解決するまで継続し、次の期の区民会議まで引き継いでいってもよい  
提案を実行するため、各種団体から推薦委員を出していただいている  
成果が見えてくれば区民会議の認知度も高まっていく  
実行を見据えた提案にする  
地域に根ざした課題は市全体や県・国にとっても共通の課題となりうる  
区予算がイベントに偏ったことがあった。安易にイベントに走らず課題解決の手  
法を検討してほしい

#### ・感想等

佐々木：普段は感じないが20万人もいる宮前区は大都会。地元青森の青森市は約20万人なので、地方の中核に匹敵する。細かいサービスは行政では手が届かないので地域の方の協力をいただきたいという点が印象深かった。ウォークラリートークラリーは反応が良かった。頑張りましょう。

大村：区民会議の知名度が低いのは実行が伴っていないからだと改めて感じた。できるだけ提案の段階で具体的なものにしていきたいと思う。

黒沢：各区似たり寄ったりな現状なのかという印象。期をまたいでの実行ということで、あと一年の間にやり切らないといけないと思っていたため、少し気が楽になった。

### 4 具体的な提案の検討

⇒事務局から市民アンケートの結果、川崎市の取組、他自治体の事例について資料説明。もろもろ参考にしながら具体的な提案の検討へつなげる

- 持ち寄った提案について、意見交換 33-42 ページ

何が課題か、どのように地域主体で解決していくかなど発表（敬称略）

各委員、資料に沿って説明。以下、資料への補足事項。資料以外の提案も別紙に添付

p35：行政に要望済。仮設であれば可能ではないかと道路公園センターに相談している。30万ほどでできる。（本郷）

p36：宿河原にある川崎市緑化センターに協力を依頼。公園管理の一環として木の名札をつけ、親しみやすい公園づくりをする。公園管理を通したコミュニティ形成へとつなげる。様々な視点で拠点としての公園を考える必要がある。たとえば、防災。管理運営協議会で防災について検討をしているのかなど（福田）

p36：ここで指す街路樹には植え込みも含まれる。並木という範囲の広いものの管理を通じて、複数町内会の連携や団体のネットワーク化へとつなげる。点から線のコミュニティへ。（藤田）

p39：芝生・遊具・花壇等の情報の整理を行い、公園利用促進に向けた提案を検討する。道路公園センターで情報収集できるのではないかと（黒沢）

佐々木：課題を挙げていくというのも区民会議のミッションなのでどんどん挙げてもらいたい。次回は実現性について検討し、絞り込んでいく。市長講話では単発のイベントを批判しているわけで、成果を見据えた継続的な取組の中でのイベントは批判しているわけではないので誤解の無いようお願いします

## 5 今後の部会進行について

## 6 みやまえ探検！発見！ウォークラリー トークラリー

事務局から説明

- 広報状況：市政日より、タウンニュース、区民会議日より回覧、区HP、こども文化センター、各行政施設
- 宮崎台コースの応募状況がいまひとつ
- マニュアルを3月5日前後に送付するので確認ください
- 引率担当者に下見をお願いします
- 鷺沼北公園担当に本郷さんをお願いします

森山委員：鷺沼コースを下見。フロントاون鷺沼を越えるとトイレが無いので注意

## 7 次回の日程

第6回 環境人部会

4月8日 18時15分～20時 区役所 第1会議室

宿題：今回資料、各委員からの提案を熟読し、実行に向けた検討を個別に深める

## 第 6 回環境人部会 摘録

日時：平成 25 年 4 月 8 日(月)18：15～20：15

場所：宮前区役所 4 階第 1 会議室



【進行：佐々木部会長】

### 1 出席確認

出席：佐々木部会長、大村委員、福田委員、森山委員、本郷委員、白井委員、  
芒崎委員、浦野委員、藤田委員、直本委員

欠席：黒沢委員

関係者出席：宮前区役所道路公園センター協働推進担当 佐々木担当課長

### 2 前回会議摘録の確認

別紙配布資料「第 5 回環境人部会」摘録に基づき確認

### 3 具体的な提案の検討

- ・佐々木部会長から区民会議パンフレットを用いて再度区民会議の役目を確認
- ・佐々木部会長が別冊「環境人部会の具体案宿題シート」の各提案内容について検討のポイントを整理しながら確認。

【検討の留意点】

#### ① 矢上川の存在を知ってもらう

- ・現在の矢上川がどうなっているのかを調査し、把握する必要がある
- ・PRをどうすれば良いか。そうすることでどのような結果が得られるか
- ・担い手や対象は誰か

#### ② 緑化活動のPR 意識改革

- ・花壇のいたずらに対して、どのような対応策があるか
- ・まちづくり協議会では花や緑の団体に限らず広く市民活動団体への支援を行っている

#### ③ 「花いっぱいフェスタ」の開催

- ・緑化団体との連携、既存組織との連携をどうするのか

#### ④ みやまえ マラソン

- ・道路使用許可の取得、事業費用の確保、スタッフの確保をどうするか

#### ⑤ 坂道ウォーキング

- ・第 3 期の活動であり、継続性がある。

**⑥週6日間の公園体操の実施**

- ・備品の貸し出し制度創出や指導者の育成等を通じて、公園体操を広める。

**⑦公園整備（樹木・草花の名札付）**

- ・コミュニティを作るために人を巻き込むにはどうすれば良いか。
- ・実施する人が決まっているので、その輪をどう広げていくか。

**⑧公園美化推進ボランティア団体の結成**

- ・宮崎第4公園でさまざまな取組が実施されているならばそのノウハウを、広く他の公園に広げていく視点

**⑨国道246号線（有馬3丁目 マクドナルド付近）斜面緑道整備**

- ・246号線斜面は国有地である。

**⑩街路樹を活かしたまちづくり**

- ・既存の愛護会の活動など、現行制度の活発化、PRにより拡大するための方法を見出す。

**⑪各中学校区の公園の植生調査**

- ・植生調査だけでなく、調査した結果がベースになり、他の課題解決につながる。

**⑫常設菅生緑地プレイパーク**

- ・常設型を整備する際の場所、ランニングコスト、設備をどうするか。

**⑬平瀬川の水源保全を**

- ・水源の管轄の問題がある。
- ・設備関係が多いので、区民会議でどう実現できるか。

**⑭ボランティア団体の拠点にクラブハウスを**

- ・道路公園センターの許可が得られるか、予算が確保できるか、区民会議で施設整備型の提案を扱えるか。

**【主な意見】**

**④宮前マラソン・⑤坂道ウォーキング**

直本：③宮前マラソンと⑤坂道ウォーキングは、第3期区民会議提案の継続として位置づけられるので、その動きを見た上で対応する形で、当面保留しても良いのではないかと。

**⑨国道246号線斜面の緑道整備**

関係者：・246号は国有地であり、川崎市が緑道を整備することはできない

- ・斜面が急で管理が難しく、緩やかにするには法面が道路にはみ出す
- ・土留めは3mの擁壁に更に圧迫感が出て、景観的にも良くない
- ・道路予定地などの市有地は、昨年度から緑化活動場所として花壇等の利用を認めている。

佐々木：場所により、対応が違ってくる。川崎市の区民会議なので、市の土地ならやりようがあるのではないかと。道路周辺の未利用地を花壇等にすることで環境が良くなると良い。

⇒国道246号と特定せず、道路周辺の未利用地有効活用とする。

#### ⑫常設菅生緑地プレイパーク

佐々木：施設整備型の提案であり、区民会議の提案には合わないのでは。

関係者：宮前区では、第2期区民会議の提案を受けて“冒険遊び場”として外遊びを推進している。また、川崎市内はどこにも常設型のプレイパークは無く、類似の子どもが遊ぶ施設として高津区に夢パークがあるだけ。

大村：羽根木のようにNPOを立上げ、監視する人が常にいる遊び場ができるとうい。 “冒険遊び場”の集約型として、常設のものが出来ると良い。

福田：羽根木公園を視察してはどうか。

事務局：第2期の“冒険遊び場”の提案を受け、担い手を育成するという方針で活動が続いている。地道な活動の中で担い手が育ち、浸透した後で更なる活用方法の1つとして常設化という話があるのではないかと。

直本：現時点で取り組むのは難しい。将来的には理想としてそういった場所が区内にあっても良い。将来への夢を残しながら、現在のノウハウを活かせるのかを検討してはどうか。

⇒“冒険遊び場”を拡充し担い手を育てる中で、将来的に常設化の可能性を探る。

#### ⑬平瀬川の水源保全を

本郷：7区交流会で市長が話した「区の特徴を掘り下げる」という趣旨に合わせて提案した。区内には平瀬川の水源地と矢上川があるが、水が減ってきている。平瀬川まちづくりの会のメンバーで30年間保全に取り組んできたが、今後は、宮前区のテーマとして水の保全を取上げ、区民全員で応援してもらいたい。今すぐどうにかしようということではない。

佐々木：雨水浸透升の設置は施設整備型の提案であり、区民会議の提案には合わないのではないかと。

⇒雨水浸透升の設置ではなく、水源・河川の保全として検討する。



#### ⑭ ボランティア団体の拠点にクラブハウスを

佐々木: 施設整備型の提案であり、区民会議の提案には合わないのではないか。  
⇒ 議論経過としては残すが区民会議提案として取上げるのは難しい。

以上の意見を参考に、次回部会で第4期に取り組む課題を3つ程度にグループ化し絞り込んでいくことを確認。全てに手をつけるのは難しいため、3つに絞り込んだ後、どれを4期で取り扱うか検討する。それ以外は議論の経過として引き継いでいく。

#### 4 第5回区民会議全体会（5月15日）での報告内容について

本日の意見を参考に事務局が整理し、3つ程度のテーマの括りに集約する。事務局の集約案をもとに、検討経過を報告する。なお、事務局が集約したものを事前に委員に送付し、内容を確認する。

佐々木: 課題が重なる提言がたくさんある。課題をベースに括ると整理できる。

#### 5 みやまえ探検！発見！ウォークラリー トークラリーの感想等

別紙の記載内容を、各委員が報告

#### 6 今後の日程

第7回 6月4日（火）18：15～ 区役所4階第1会議室

# 第4期宮前区区民会議 心を育てる地域と世代部会 議論ペーパー

■キーワード■  
**心の教育**  
**世代間交流**  
**後継者育成**

## 目指す方向性

どこで？  
**地域で**  
 (小学校区程度の徒歩圏単位)

何を？  
 ① 多様な地域の人材・世代が活躍・交流する場をつくる  
 ② 学校・地域・市民活動団体等が連携する場をつくる

何を？  
**心を育む**  
 ① 区民の教育、子育て・健全育成を支援する  
 ② 文化伝承や世代間の体験の共有手段として

## 現状

### 既存の活動や取組、場

- ・ 学校支援センター…ボランティアの紹介・コーディネート
- ・ 各小学校…授業・行事等での地域人材活用 (アンケートで多様な事例が明らか)
- ・ 区社協…ボランティア活動振興センター
- ・ PTA…家庭教育学級、おやじ会、各種学校行事への協力
- ・ 地域教育会議…こども国会・教育を語る集い
- ・ 市民館…市民カカ連絡会 (30 団体)、「みやまえ JAM」、各種講座
- ・ こ文…利用者団体会議、運営協議会等
- ・ まちづくり協議会…『市民活動の仲間』発行
- ・ 区民活動支援コーナー
- ・ 市民活動団体…多種多様な活動
- ・ わくわくプラザの活動

### 課題

- ・ 地域単位での人材とニーズのコーディネート機能
- ・ 個人・限定的つながり→有機的な連携ネットワークへの発展  
 ※ 似た取組があちこちでバラバラに。後継者や引継ぎ問題
- ・ 地域での人とのつながりの実感や自然体験の希薄化
- ・ 学校・地域間の壁 (教員の負担、経費、管理安全責任など)
- ・ 人材情報の共有や活用・アクセスのしきみ  
 ※ 情報は既に様々な場所にある→バラバラ、充分活用・認知されていない  
 ※ 活用の上では、個人情報の取扱・保護の問題
- ・ 地域団体・市民活動団体の高齢化・弱体化、
- ・ 活動や伝承の後継者の育成。空白の 40~50 代？
- ・ 既存の活動やしきみの知名度UP (もっと広く知ってもらう)
- ・ 潜在人材の発掘 (場やきっかけがない人たち)
- ・ 地域コミュニティ・支えあい・ボランティア意識の低さ
- ・ 現役世代の多忙さ・時間のなさ
- ・ 全体的視点の不在
- ・ 地域や学区による温度差・活動差
- ・ これまでの取組の推進強化・継続性の確保

## 課題解決提案の方向性・イメージ

### 既存の活動や場の発展支援

- ・ 参加者から運営側に育つ段階的な講座やしきみの提案
- ・ 新たな連携や交流のしかけ

### 総合的視点、プロデュース能力をもつリーダーの育成

- ・ 自立運営につなげるノウハウや情報の提供

### 良い活動の広報・拡大支援

- ・

### 親子一緒に体験・参加できる場づくり

- ・ 高齢者もその場にいるのが理想
- ・ 自然体験などを通じて感動体験の共有

### 潜在人材の発掘・活用のしきみづくり

- ・ 地域の潜在人材のリスト化？
- ・ リストの活用・維持管理・更新
- ゼロからの立上げは大変か？
- 情報収集には用途や目的の明確化も必要

## 課題解決提案の内容・手法(案)

第6回部会で部会員から出た案をまとめた。

詳細等は未検討・提案にするかどうか未決定。テーマの絞り込みも含め、検討を今後さらに進める...

### ■方向性1：学校との連携による

- 案：各学校で行われている良い取組の普及・拡大や、地域で活動している人を学校に招いての交流会  
 例：地域の有識者や団体から地域の伝統文化や歴史を学ぶなど (学校アンケートを参考に)  
 →地域や学校の条件・環境・人材への配慮が必要

### ■方向性2：市民団体との連携による

- 案：区民会議だけで新しい取組をするのは難しい。既存の市民団体活動の良い取組を支援  
 例：「風の泉」の九九の取組の水平展開  
 →「風の泉」の皆さんにお話し、区民会議の支援提案にのれるか

### ■方向性3：地域史の掘り起こし・まとめ活動を通して

- 案：各地域で昔語りなどを通じて、地域史をまとめ掘り起こしてまとめていく活動  
 →モデル地区を設定して取り組む

### ■方向性4：既存イベントへの参加活動を通して

- 案：イベント参加者が運営にも徐々に関わっていきけるような段階的講座・しきみの提案  
 例：夏休み子ども遊びランドで達人の技の伝承者を増やしていく講座など

### その他の意見として、

- 頑張っている活動の表彰・元気づけ  
 →選定基準等がむずかしいという話も
- 自然体験機会を増やす取組  
 例：ネイチャーゲームを宮前区の公園で

区民会議の目的=参加と協働 (市民と市が共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任のもとで、お互いを尊重し、対等な関係に立って協力すること) により地域社会の課題の解決を図る。



## 第5回 心を育てる地域と世代部会



### 【摘録】

日時：平成25年3月8日(金)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

#### 1 出席確認

出席：大槻、太田、岡、佐藤、田浪、豊島、直本、平井、宮崎、山下

#### 2 前回会議摘録の確認

別紙配布資料に基づき確認

#### 3 区民会議交流会の報国

別紙配付資料に基づき、市長講話の概要を説明

主な参加委員のコメント

区や全市とのつながりを意識できた。他区と交流できて良かった(直本・宮崎)  
フォーラム企画が他区委員に好評だった。(直本)  
委員は区民会議の広報マン。幸区のように名刺をつくってはどうか。(直本・山下)  
課題は期をまたいで引き継いでも良いという市長の言葉に安心した。(平井)

#### 4 具体的な課題解決への提案を検討

意見交換→別紙のとおり意見集約

#### 5 部会名

キーワード等あげて検討の結果「心を育てる地域と世代部会」に決定した。

#### 6 みやまへ探検！発見！ウォークラリー トークラリーについて

別紙配付資料に基づき、各委員の当日の担当や動き方等を確認した。

3月10日に実施するウォークラリーコース下見の案内をした。

#### 7 今後の日程

第6回 4月17日(水)18:15~ 区役所4階第1会議室

## テーマ：心をはぐくむ地域・世代間交流

【総論】 世代交流を目的とした活動は区内でも様々に展開されている。既存団体の支援、人材の発掘とリスト化などの提案が出された。（調査や情報収集、活用の方法等についてはまだ討議が不十分）また、テーマの絞り込みとして、「文化の伝承」という案も出された。

【キーワード】  
心の教育、コーディネーター育成、文化の伝承、人材の発掘

### 心を育む地域・世代間交流に向けたポイント、課題の整理

#### 既存の団体の活動等

- 世代間交流を目的・テーマとした活動を展開している団体が区内にいくつかある、と第二社協が紹介した。（山下）
- 「風の泉」という団体が区内4小学校で展開している九九の暗誦を聞く活動は世代交流を目的とし、誰でもできる活動として展開している。区民会議で支援してはどうか。（田浪）
- 宮崎台小でこどもに将棋を教える活動など、担い手が減ってきてしまっている活動もある。（山下）
- こども文化センターの運営協議会・利用者会議などは多様な活動団体が集まる場となっている。（平井・豊島）

#### 場について

- 学校以外の地域で交流する場の形成。例えばこども文化センターや町内会館など。（平井・大槻）
- 高齢者を引っ張り出し、活躍の場を与えることが重要。（山下）
- 世代交流に貢献している、世代交流を目指している既存の活動団体の支援を展開する（田浪）
- 地域を総合的な視点から俯瞰して、コーディネートする場が必要。（岡）
- モデル実施→検証からはじめ、ひろげていく。（岡）

#### 新たな人材の発掘・調査方法（案）

- こどもに伝えたい体験や知識を持った地域の人材のリスト化とその共有を図りたい。（太田）
- 各町会に呼びかけて、知識や特技をもった人材の発掘調査を行ってはどうか。（大槻・平井・太田）
- 積極的な学校をモデルに、面談などの突っ込んだ調査を行う。（大槻）
- リスト作成だけでなく、その活用や管理、活躍の場づくりが重要で難しい。（事務局）
- リスト作成や活用方法の調整など、膨大な作業を誰がやるのか考えながら議論をした方が良い（田浪）
- 既存の地域や団体、それぞれが持つ情報や人材等の関係を一度整理する必要がある。（コンサル）
- 漠然と人材探しをするのではなく、テーマの絞り込みが必要→「文化の継承」が鍵になりそうだ。（大槻・直木）

#### 2つの提案の方向性

- ① 既存の活動がやりやすくなるように支援をしていく ⇒ 既存活動団体のニーズ把握が必要  
例：学校支援センター、九九暗誦「風の泉」
- ② 区民会議で新たな仕組みを構築する ⇒ 担い手を意識した議論が必要  
例：地域人材を発掘しデータベース化、発掘した人材をキャリア教育などで活用



## 第6回 心を育てる地域と世代間部会

### 【摘録】

日時：平成25年4月17日(水)18:15~20:30

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

#### 1 出席確認

欠席委員：なし

#### 2 前回会議の内容の確認

別紙配付資料に基づき確認

#### 3 具体的な提案の検討

- 関係者出席：施策や取組の現状について報告。意見やコメントを受けた

宮前市民館 植村担当部長（市民館長）

…市民館の役割、夏休み子ども遊びランド等について

宮前区役所こども支援室学校地域連携 市川担当課長

…学校支援センターの取組、実情等について

- 意見交換→別紙のとおり意見集約

- 第五回部会で議論となった提案の方向性としては

① 既存活動の支援 ② 区民会議で新しい仕組みを提案

どちらも必要に応じて並行して検討することとなった。

- 審議のための情報が不足。今後、資料や参考事例を事務局から提示することに。

#### 4 第5回区民会議全体会（5月15日）での報告内容について

部会長・事務局に一任

#### 5 みやまえ探検！発見！ウォークラリー トークラリーの感想等

事前に記載いただいたアンケート用紙の回収。別紙のとおり集計

未提出の委員には後日提出をお願いした

#### 6 今後の日程

第7回 5月28日（火）18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

## テーマ：心を育てる地域・世代間交流

### 【総論】

世代間交流で最も伝えたいのは民俗文化等でなく、それぞれの世代の体験の共有、人のつながりの実感。その為の課題や理想の場について、掘り下げた議論を行った。また世代間交流を通じて、伝承の後継者やリーダーを育てていく視点、親子一緒に体験することの重要性などが、改めて強く示された。

### 【キーワード】

心の教育、世代継承、親子一緒に体験、感動体験の共有、まちのプロデューサー

### 夏休み子ども遊びランド（市民館イベントの紹介）

- 夏休みに様々な遊びの達人が子どもたちに遊びを伝授。平成14年～。氷遊びなど特徴のある企画も
- 昨年度は障害者の達人も登場（フリフリダンス講座）。幅広い世代間交流、地域活動参加のきっかけ
- 来場者3000人、運営側約190人。宮前区内の全小学校にチラシを配布。企画委員募集中

### 課題は何か？

- 既存の活動やイベントの内容・運営メンバーの固定化・高齢化（田浪）
- 遊びなどを教えられない空白の世代。活動や伝承の後継者の育成（豊島・太田）
- 新たな人材の発掘・地域レベルで。町内会等へ協力を依頼してはどうか（平井・大槻）  
→町会等への依頼は具体的な活用方法・長期的な個人情報管理方法など区民会議で固めてからでないと難しい（事務局）

### どのような場が必要か？ 理想か？（目指すものや方向性）

- 親子で一緒に体験できる場。感動体験の共有、そしてそこに高齢者もいる（平井）
- 様々な活動のリーダーが交流し、視野を広げ、まちの総合プロデューサー的視点を獲得する場（宮崎・田浪・豊島）
- イベントなどの運営をうまく市民の自立運営につなげるノウハウの獲得。社協のハンディキャップスキーが好例（太田）
- 長年続けられている良い活動をもっと知ってもらうための広報・情報発信（平井・豊島・宮崎）
- 小中学生の間に他人や友達とのつながりを実感し、誰かに相談できる場・環境づくり。（直本）
- 世代交流の目的が達成できればツールは何でも良い。既存の仕組みを発展・拡大支援する（田浪・大槻・豊島）

### 取り組む上での留意点は何か？

- やりっぱなしや流行りすたりではなく、少しずつでも地道に続け、広げていくしくみ継続性（平井・豊島）
- 既存の活動やイベントの関係者にとって「余計なお世話」とならぬよう（平井）
- それぞれの地域や学校の条件・環境・人材への配慮（大槻・平井）
- 誰でも参加できるように。特殊な技術や才能が無くても活動できるものがよい（田浪）
- 身近な地域から起こしていく。あいさつなど日常の触れ合い・交流から（佐藤）
- 地域の二一ズからの吸い上げ（田浪）

### 次世代に何を伝えたいのか？

- それぞれの世代の体験から、次世代に伝えたいもの（直本）
- 伝承遊びも文化と捉えられる。メンコのコツや遊び歌など薄れてしまっているものがある。（山下・豊島）
- 自然とのふれあい。自然体験。自然体験が乏しい親・子どもが増えてきている。（平井）

### 具体的な場の取組（案）…次回の部会で各自持ち寄る

- 各地域で昔語りなどを通じて、地域史を掘り起こしまとめていく活動（山下）
- 頑張っている活動の表彰・元気づけ（宮崎） →選定基準等が難しい（平井）
- 各学校で行われている良い取組の普及・拡大（直本） →地域や学校の条件・環境・人材への配慮が必要（豊島）
- 民生委員など地域で活動しているが、学校との接点が少ない人を学校に招いて交流会（豊島）
- イベント参加者を運営側にしていくような段階的講座・しくみの提案。例えば子ども遊びランドで達人の技を会得し、伝える側を母親が体験・参加できるような講座など。（田浪）
- ネイチャーゲームを宮前区の公園で。（平井）

1 **参加者の方から区民会議や宮前区についてどのような意見などがありましたか、またどのような交流がありましたか**

- ・(区民会議の) 存在は知っているが内容は知らない。
- ・(区民会議は) 今までに全体会を傍聴したことがある。
- ・(区民会議の) 委員をよく知っている。
- ・区民会議を信頼している。
- ・区民会議は良い結果を出すと思う。
- ・鷺沼北公園の三角点など近くでも知らない地域があることを知った。
- ・ポールウォーキングはよかった早速ボールを購入する。
- ・一部の地域で高齢化が進んでいる。
- ・宮前区は住むには環境も良いが何か欠けている(高等教育や大学など)。
- ・トークラリーは良い交流ができた。
- ・フォーラム終了後、区民会議を話題に個人的に交流をした。
- ・いつも行っている場所なのでつまらない。
- ・いつもとは違って新しい発見があった。
- ・地域で緑を保全している個人の人にも頭がさがるし、力を貸さねば。
- ・ウォークラリーと聞いて参加したので、急に市民活動と言われても。
- ・良かったからこれからも四季折々にやってほしい。
- ・グループの方の中に、お花や樹木に詳しい方がおられ、道すがらもっばら花の名前、育て方等に話がおよび、区民会議関連に話が持っていけなかった。
- ・並行して歩かれる方とお話をしながら歩きましたが、もっばら何処に住んでおられるのか、日頃どんな活動に参加しておられるのか等他愛ないお話で終わり、残念ながら、区民会議の話をして、ほとんど関心がなく、2言、3言の短い会話で終わってしまう状況でした。
- ・今回参加されている方は日ごろから積極的に(地域に)関わっている方ばかりだと思います。また、初めて参加された方も問題意識をしっかりと持って、もっとボランティアをしたいとおっしゃっていて良かったです。
- ・宮前区在住歴が長い方が多く、住みやすいと感じている方が多かったです。区民会議に知り合いがいるから知っているという方が多かったが、その方が近所でお店を出している方であったり、意外なところに接点を見出せた。
- ・近くにあってもなかなか訪れることの少なかった場所、しばらくぶりに通って、“あら、こんなに変わってしまった”というような所、など新しい発見につながった。委員会の中で話しているのと違い、個人的にも楽しく交流出来て良かったです。
- ・区民会議の名称は知っているが、詳しい事は良くわからない。
- ・ポイントとクイズをしながら歩く事は、発見があり楽しいし、体験も良かった。
- ・身近に良いところがある事に気づき良かった。
- ・歩く会のシニアチームの方は、ポールウォーキングが気に入り、また参加したいとのこと。
- ・人数が12~13人だったが、列が長くなった。車の通りが無かったので良かった。子どもたちを見ていてくれる人がいて助かった。
- ・宮崎第4公園について説明を受けて、知らなかった事が分かったので、今回参加して良かった。

1 続 き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久しぶりに体操が出来て良かった。</li> <li>・区民会議がよく知られていなかった。</li> <li>・坂道の標柱について、参加者の一人から木柱では腐りやすいからその点を工夫したらどうかのご意見がありました。</li> <li>・ポールウォーキングの反応が良かった。普段運動をしていない人が多い。長く継続してもらえると良い。フロントウンさぎぬまという拠点があるので、何かの時には使ってもらえると良い。</li> <li>・相談しながらクイズを回答でき、まとまった。</li> <li>・行って見て、その場所を知ることができて良かった。</li> <li>・宮前カルタに区のスポットが載っているので、それらを実際に歩き、身近に感じられると良い。</li> </ul>
2	<p><b>今回のフォーラムは区民会議の取組を体験によりPRすることに主眼をおいた形式でしたが、全体の企画やプログラムの構成についていかがでしたか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの企画としてはよかったと思う。ウォークラリートークラリーの分け方や進行など、委員もそれぞれの役割を果たしたと思う。</li> <li>・午後の頭で説明していたが、区民会議の意義・内容をもう少し説明できればと思う。</li> <li>・参加者の数は問題。定員に満たなかった。アピール・PR方法を検討すべき。個別に参加者を勧誘しても良い。自分の場合は地元で勧誘したところ、7名の参加者があった。</li> <li>・道すがら、新しい発見や楽しいウォーキングは出来ましたが、参加された方々が区民会議についての知識を深められたかどうかは疑問です。</li> <li>・ウォークラリー自体は新しい体験だということでしたが、午後にトークラリーの時間が少なく、十分な話が出来なかったのではないかと思います。</li> <li>・イベント企画の場合、どれだけの参加者が見込めるかが成・否のカギを握ると思います。実施の1カ月前、20日前、10日前、1週間前、4日前、1日前等におおよその参加人数が把握できるような仕組みを構築して置く必要があるのではないかと思います。</li> <li>・一部の企画委員とコンサルだけでプログラムを進めていたので我々4期の委員が十分に関われなくて困った。コースにしても地域を知らない人たちで組んでいたし。宮崎台コースは区民会議の取組を体験という意味では違ったのかと。当日のウォークラリーもトークラリーを受けてやるべきではなかったのかと。</li> <li>・ウォークラリーは区内をしるうえで必要であったと思います。トークラリーは時間が足りなくて話をまとめられずに終わってしまったように思います。</li> <li>・堅苦しいイメージが無く、参加しやすかったと思う。</li> <li>・時間配分も無理なく、楽しめた。</li> <li>・まず第1回目としては、タイトルのように行って見て、その場所を知らせる、または知るところでは良かったです。</li> <li>・良かったと思っています。</li> <li>・クイズを解くことで、チームが一つになれた。カルタ取りは子ども大人ともども楽しめたことと思います。</li> <li>・意外と知らなかった所を初めて歩いたことで感激したとのこと。</li> <li>・大変良好でした。</li> <li>・トークの時間が短かった。もう少し時間があればもっといろいろな意見が出たと思う。</li> <li>・PRについては十分出来たと思います。</li> <li>・全体の企画とプログラムの構成等は良く出来ていたと思います。</li> </ul>



2 続 き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年の方や子どもが参加しやすい日を選んだら良かったと思います。(例：春休み、夏休み等)</li> <li>・手間がかかった。あそこまで手間をかければ、十分に楽しませることが可能だ。たびたび実施するのは困難だ。</li> <li>・「歩こう会」の活動の参考になった。</li> <li>・近くにあっても行けなかったところ、しばらくぶりに行って変わっていたところを再発見できた。委員会で話すのとは違う委員の個人的な面が見られて良かった</li> <li>・参加者は、さまざまな企画を体験して楽しめたのではないか。クイズの問題も面白かった</li> <li>・参加者がもう少し多ければ良かったが、歩くにはあれ以上人数が多いと大変だ。今回の参加者が区民会議の面白さを回りの人たちに伝えてもらえると良い</li> <li>・当初予定した人数よりも参加者が少なく心配だったが、ちょうど良かった</li> <li>・誘導に気を使う時間が多かった。</li> </ul>
3	<p><b>今後の区民会議の認知度向上について、どのような取組が必要だと思いますか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の注意を惹く、または関心の高い課題を選定し、結果として実行されることが認知度向上につながる。</li> <li>・区民の関心のあることであれば、長期的な課題でも掲げておく。短期に結論が出なくてもよい。区民会議の指摘ということでよい。市の問題として取り上げてよい。</li> <li>・委員の個人的努力も必要。自信をもって区民に説明する。</li> <li>・名刺の活用。委員個人の認知度向上も必要。市議員は自分の名刺を配っている。</li> <li>・皆さま所属団体からの推薦参加が多いように見受けますが、所属団体に戻ってからの定例会議で、最新の区民会議の情報を伝達する。</li> <li>・区主催のイベント等に積極的に出向き、会議の近況状況を掲載したチラシ等を配る。</li> <li>・区民祭では、当然ブースを設けておられると思いますが、印象に残る仕掛け、例えばタレントを連れて来て、「1日区民会議大使」を演じてもらう等 PR をする。</li> <li>・区民会議全体会を土曜や日曜の午前・午後に開催して傍聴しやすくするのはどうでしょう。夜は出掛けにくい人や仕事をしている人には良いと思います。</li> <li>・今回のフォーラム参加者も直接の呼びかけで参加した方が多く、私達区民会議委員が日ごろからアピールしていくことが大切だと思った。</li> <li>・何をしているのかいまひとつはっきりしないのも認知されにくい要因かも。もっと区の広報で取り上げてもらったりしてもよいと思う。</li> <li>・宮前かるたに出てくる場所等を実際に訪れてみるのも身近に感じるようになるかも。</li> <li>・市長の言う通り計画案だけで終わらないで、実行して区民に認められなければ何にもならない。</li> <li>・4月は、各団体の総会が開かれるので、チラシを配るとか、話題提供したら良い。</li> <li>・各推薦団体で、区民会議の経過を報告するなど、関係を密にして裾野を広げる工夫をしたらどうか。</li> </ul>
4	<p><b>来年は第4期区民会議提案の内容を盛り込んだフォーラムになりますが、工夫すべき点があれば、その方法も含めてご記入ください</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回フォーラム開催の時期までに4期の課題・テーマを両部会とも確認しておき、説明可能の状況とする。</li> <li>・開催日の選定に注意する。春分の日前後は仏事で忙しく避けた方が良い。</li> <li>・午前中は区民会議課題に関する現地を見学するなど。</li> </ul>

<p>4 続 き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者拡大への工夫が必要。</li> <li>・フォーラムは公開討議だから第4期の委員全員でフォーラムに取り組み、どういふねらいでどう進めていくのか全員で共有してあたる必要がある。</li> <li>・区民会議の出身団体の方々に強制的な参加を呼びかけ集客の一助とする。</li> <li>・集客のため、フォーラムの前座で落語家の出演を依頼する。出来たらご当地出身の落語家か、演目にご当地落語を取り上げてもらう。(過去、大人の文化祭でご当地落語を取り上げて成功)</li> <li>・宮前区在住の著名人に「住み良い宮前区について」講演をしてもらう。</li> <li>・「行政と地域住民の関わり方について」専門の大学の教授等に講演をいってもらう。</li> <li>・宮前区在住の海外経験者に集まってもらい、「海外と宮前区の地域住民関わり方の違いについて」話をしてもらう。</li> <li>・宮前区の転入者に集まってもらい、ニュートラルな立場で、「宮前区の問題点、これからのあり方について」語ってもらう。</li> <li>・今回はウォークラリーで出かけて良かったと思いますが、じっくり話すということからテーマをしっかり絞って皆で考えていくことが大切かと考えます。</li> <li>・昨年のフォーラムでは第3期カルタ大会や地元のお菓子やお茶の紹介などがあり、楽しめるものがあった。ただ、4階の会議室まで足を運ぶ人は少なかったのではないかと。たまたまた人も立ち寄れるように2階ロビーで行うのもよいかも。しれない。</li> <li>・具体的な実行計画が必要。机上の空論ではダメだ。</li> <li>・現2部会スタイルで良いと思うが、両者の提案は切り離せない問題も多いから、各委員間の意思疎通を計るべき。</li> <li>・不勉強でその工夫すべき具体策がありませんが、今後皆様のご意見を伺いながら、会議に参加して行きたいと思っております。</li> <li>・さまざまなテーマが出て、2年では実現できない。良いテーマは継続してはどうか。継続する中で若い人を育てる。</li> </ul>
----------------------	--